

伝統・文化理解

「伝統・文化」という表記には、意味があります。いわゆる伝統文化とは、我が国でいえば長く受け継がれてきた華道や茶道などに代表される文化を指します。

「伝統・文化」は、そうした伝統文化はもとより、未来に受け継いでいきたい現代の文化も含まれます。

では、なぜいま「伝統・文化理解」なのか。その主な理由は、次の2点です。



① 学ぶ機会の減少

伝統や文化を理解し大切にする教育は、従来、日常生活の日常生活の具体的な時と場に応じて行われてきました。しかし時代の変化とともに、家庭や地域社会において子どもたちが伝統や文化について理解したり経験したりする機会が減っています。子どもたちが伝統や文化の価値を学ぶためには、学校が家庭・地域社会と連携しながら、計画的・系統的な指導を展開することが必要になっています。

② 国際社会に生きる人材の育成

これからの社会は、国際化が一層進展します。今後とも日本が発展し、従来に増して重要な役割を担うためには、様々な分野で国際社会に貢献し、世界の人々から信頼され、尊敬される人間を育成していくことが重要です。そのためには、異文化に対する理解を深め、異なる文化をもつ人々と協調していく態度を育てる必要があります。

異文化を理解し大切にしようとする心は、自国の文化理解が基盤となって育まれるものです。我が国の伝統や文化について理解を深め、アイデンティティを確立する教育を推進することは、時代の要請でもあります。

チャレンジ精神をもつ

京セラ名誉会長、KDDI最高顧問、日本航空名誉顧問 稲盛和夫

人は変化を好まず、現状を守ろうとしがちです。しかし、新しいことや困難なことにチャレンジせず、現状に甘んじていては、退歩が始まります。現状を否定し、高い目標を設定し、常に新しいものにチャレンジしていかなければなりません。

ただ、チャレンジという言葉は勇ましく快い響きをもつ言葉ですが、そのためには困難に立ち向かう勇気やどんな苦労も厭わない忍耐、努力が必要です。

出典：「稲盛和夫一日一言 運命を高める言葉」（稲盛和夫著 致知出版社）

※ 「チャンス・チャレンジ・チェンジ」の3Cを重視したいと思います。